

第12回議会報告会での主な発言等
(項目別集約)

○：参加者の発言要旨
→：議員の答弁要旨

1. 財政問題について

- 財政危機の状態は、急にこういうことになったのではなく、以前からこういう状態になることが予測できたことではないか。BRTや連節バスが今日の財政危機を生み出したのではないか。(東区)
- 新潟市の財源不足、収支均衡が図られていないのは大変問題である。収支均衡を図り、持続可能な財政運営になるようにしてもらいたい。(東区)
 - 収支均衡を図るのは当たり前のことである。今までは基金を取り崩し対応していたが、今年度の予算編成は基金の取り崩しを予定せず、収入と支出のバランスをとったものとなっており、議会としても評価している。
- 危機的な財政を持続可能なものにするために、市長と副市長は給与を5%減額しているが、20%位まで自ら減額してもいいのではないか。議員も報酬の10%位の減額の声を出してもいいのではないか。(東区)
 - 財政難の状況の中、さらに議会としても努力せよということだと思うが、重く受け止める。
- 市の全体予算が減額されている中、公園管理費が増額された理由は。公園管理費だけ増額されているのはいかがなものか。(中央区)
 - この場で具体的な回答ができなかったものについては、まとめて回答する。
- 市の財源が逼迫^{ひっばく}したのは議会、議員にも責任があるのではないか。(中央区)
- 119億円の財源不足と報道があったが、過去からの累積で財源不足になったのか。(中央区)
 - 合併建設計画や新潟駅周辺整備事業、新潟中央環状道路、万代島ルート線などの大型事業もあり借金が膨らんだ。また決算のときに不足が出た分については基金を取り崩してきたが、平成30年度の予算を組む時点で33億円まで減少した。基金が減少し取り崩せないため119億円の税源不足となったが、全事務事業点検を実施し、46億円の削減が行われた。
- 市債が増えたのは誰の責任か。合併市町村を優遇してきた市長の考え方が間違っていたのではないか。(中央区)
- 新バスシステムや水と土の芸術祭、万代島多目的広場、中央区役所移転などは、無駄遣いだと思う。そういう無駄遣いが重なり財源不足になったのではないか。(中央区)
- 無駄な事業を減らし、市民活動支援に予算をまわすことが財政の立て直しではないか。(秋葉区)
 - 文教経済常任委員会では、財政運営に賛成してきたことに対する議員の反省が語られることもあった。事務事業見直しは、市民生活に大きな影響を与えるものであった。財政再建が市民の犠牲の上にあるのではなく、何がまず必要なのか精査していくこと

が財政再建だと議会でも受け止めているが、議会でも様々な意見がある。議会報告会での厳しい意見も受け止め、議会で共有していきたい。

- 基金がなくなるという件について、今年になって突然基金の枯渇が問題になっているかのようだが、大型の公共事業や合併建設計画などを行なっていく中で、以前から基金がなくなることは分かっていたのではないか。これまでの予算案を追認してきた議会にも責任があると思うがどうか。(西区)

→ これまでの無駄遣いをチェックしきれなかった議会にも責任はあり、反省すべきものと考えている。合併建設計画については、直ちにこれが無駄だったとは考えておらず、他に無駄な使い方がなかったかどうかチェックすべきだったと思う。

- 現在の財政難は予算案を認めてきた一番の責任は議会にある。議会が報酬をカットするとか、政務活動費をカットするとか、そういったことをしないと市民は納得できない。(西区)

- 今までの説明はどれ一つ分かったようで分からない。一番疑問なのはなぜこんなにお金がなくなったのか、その理由が知りたい。(西蒲区)

→ 新潟市ではこの間合併建設計画を履行し、また新潟駅周辺整備事業など政令市としてのまちづくりを進めてきたが、その中でリーマンショックの影響などによる税収の落ち込みもあり、基金をその度に取り崩しながら均衡ある都市計画の基盤を進めてきた。プライマリーバランスの黒字化など財政目標に掲げ、持続可能な財政運営に取り組んできたが、社会保障費の増加や安心安全なまちづくりに向けた事業の推進などにより基金を活用しないといけない状況が続いてきて、基金残高がその度に減少してきた。(市の公式見解を述べた)

- 今回の予算編成にあたっては、事業見直しで一律に予算を削減したのではないか。(西蒲区)

→ 事務事業点検については、見直しの視点に基づいて事業の集約化・整理統合やサービス水準の適正化などに取り組んだ結果、平成30年度見直しの効果額は約46億円となった。

2. BRT・連節バスについて

- BRTや連節バスについて、開業後、効果について検証をしているのか。(東区)

→ BRTを導入したことで乗客離れが止まったという報告は受けている。BRTの費用対効果の検証については、長い目でみて効果があるかないかということだと思うので、今のところまだ申し上げる段階ではない。

- 連節バスは届いたときから全車不具合があり、修理代がかかっている。(東区)

- バスの乗客数が増えたのは、乗り換えをするから増えただけではないか。(東区)

- 観光客の方からも乗り換えに対しての不満が出ている。(東区)

- 議員の方たちはBRTについて市民の声を聴いて、市民の代弁をしてほしい。(東区)

- 連節バスは修理代がどれだけかかっているのか。連節バスは必要ない。(中央区)

- BRTをなくせば相当予算が使える。シニア半わりは不要。貧困の若い人や子育てにまわすべきではないか。(江南区)

- BRTについての市民の皆さんの声を聴く機会をつくってほしい。(秋葉区)

→ 市民の皆さんの声を聴きっぱなしではなく、しっかりチェック機能を発揮するためにも、議会報告会などを通じて意見をいただいきたい。

○ BRT（公共交通）について、各区（出席議員の区）の様子や不安などについて聞かせてほしい。（南区）

→ 北区：豊栄にはBRTは直接入っていないが、公共交通はかけがいのない大事なものである。高齢化などで公共交通は大切であり、これからも考えていかなければならない。特に鉄道のない南区はみんな考えていく必要がある。

→ 東区：船江町はバスの本数が少ないため、古町まで行けても帰りのバスが無く不便である。松浜線のバスを船江町回りで、何本かに1本出してもらいたいという話はあるがなかなか実現しない。新潟駅から空港に直接行くバスが、空港の利用者だけでなく、もっと便利に使えたらいいと思う。東区役所へ行くバスが不便なため、区バスを運行しており乗車率がいいが、便利になるよう努力していきたい。乗り継ぎのいいバスになれるようにしたい。

→ 東区：新潟駅や古町に向かう便数は多いが、海のほうから石山に向かう南北をつなぐ便が悪い。新潟交通ではできないので区バスで対応している。新潟駅に直接乗り入れできるようになりよかった。古町方面へ行くために乗り継ぎがあり、何とかしてほしいとの声がある。

→ 中央区：もともと中心地であり比較的便利だ。新しい時刻表もできて（地元から）古町へ行くにも、新潟駅へ行くにもあまり問題を感じていない。

→ 西蒲区：鉄軌道があり内野駅までは20分間隔で通っているが、吉田駅までは40分間隔なので不便である。もともとバスがなく、区バス・住民バスで対応しているが、人口が減ってきている状況で運営状況は大変厳しい。旧西川地区はバスがなく、福祉バスが3ルートあり高齢者は無料である。小さい子どもは朝・晩は乗せてもいいのではないかと思うが、なかなかそこまでいかない。潟東地区は白根と越後曾根間は1日3本くらいしかなく便が悪い。高齢化率が高く、免許の返納をしたい高齢者は多いが、公共交通がないため返納できないということで改善してほしいという要望を受けている。

○ BRT、連節バスについて、新潟駅前でBRTの検証を行ったが、空のバスが7台だった。連節バスにはオイル漏れ、雨漏りがあり、開業当初はシステムトラブルもあった。BRT、連節バスはやめてほしい。（西区）

3. 水と土の芸術祭について

○ 水と土の芸術祭を今年度も開催するというが何回やればいいのか。ラ・フォル・ジュルネは中止したのに不平等だ。こういったイベントでは新潟市の活性化なんてできない。（東区）

○ 水と土の芸術祭は市民の95%が反対しているのに、市長の一声で決まったのはおかしい。（中央区）

○ 水と土の芸術祭で多くの予算が計上されているが、緊縮財政の中、予算額が多いのではないか。また今までの作品に対しての管理保全はどのようになっているのか。（秋葉区）

→ ご意見として受け止める。

- 今冬、莫大な除雪費がかかったにも関わらず、なぜ水と土の芸術祭を開催するのか。水と土の芸術祭ならばラ・フォル・ジュルネの方がよかった。(西区)
- 開港150周年関係に2億8千万円の予算が配当されている。本年度は150周年にあたるので納得できるが、来年はどうなるのか。新潟エンジン02の関連で港関係の予算が計上されているが、来年度以降も継続されるのか。特に、1億8,500万円の予算が計上されている水と土の芸術祭は、やめたらどうかという陳情などが不採択となっているが、反対の声が大きいと思う。どう考えているのか。(西区)
 - 議会の議論の中でも、あらゆる事業費がカットされている中で、水と土の芸術祭だけを聖域としてはならないと多くの議論を重ねてきた。その中で、入場料を有料としたり、企業から協賛金を募ったり、文化庁から1億円程度の補助を見込むなど、できるだけ市の持ち出しが少なくなるように工夫を重ねてきた経緯がある。ただし、来年度以降については、今回の芸術祭に対する市民の皆さんの評価などを踏まえて決定するもので、現在のところ決まっていない。

4. 開港150周年記念事業、その他のイベントについて

- 報告の中であった「(仮称)新潟エンジン02」とは何か。(北区)
 - 過去に行った「01」は有識者と言われる人たちが、新潟のまちづくりについて意見を出し合うイベントだった。「02」は今年度開港150周年の節目に合わせ、市民の活躍の場をつくることができるのかということで、著名人を入れて意見を出し合う勉強会のようなことを開催し、新潟市の活性化に繋げていこうという事業になっている。(仮称)新潟エンジン02実行委員会を結成し、取り組みを進めるために400万円の予算がついている。「エンジン」という言葉は推進するというようなことで、取り組みを行う集団に対してつけられた象徴的な名前である。
- 新潟開港150周年記念事業について、子どもたちに関するものも入れてもらいたい。市内の小中学校の子どもたちから作文を募集するなどし、自分たちが書いた作文が取り上げられれば生涯の思い出となる。市内の小中学校の子どもたちに、開港150周年が認識されるようにしてもらいたい。(東区)
 - 開港150周年記念事業は1事業ということではなく、多岐に渡っており、計画されているだけで30以上の事業がある。作文に関しては議会に持ち帰り協議する。

5. 区バス・住民バス、公共交通について

- コミュニティバスの利用者は少ない。小さいバスにした方が効率がよいのではないか。(江南区)
 - 大型も小型もそんなに値段が変わらないが、小型バスを新たに造る方が時間等かかる。西区でも新潟交通に同様の要望をしたがないということで、既存のバスでの対応が継続されている。
- 高齢者の免許証返納に対するの支援が来年度からなくなるとの動きで、コミュニティ協議会で住民バスを運行するなど努力しているが、来年度から住民バスへの支援体制、

額が変わるとのことである。住民バスを一生懸命運営しようとしているコミュニティの動きに逆行するのではないか。(秋葉区)

→ ご意見を議会でしっかり受け止めていきたい。

- 合併の時に(バスについて)いいことを言っていたが、8号線から障がい者に乗せるバスが少ない。障がいのある人も障がいのない人も一緒に乗れるバスにしてほしい。力を入れてほしい。乗降口の高低差がありバスに乗りにくいので乗りやすくしてほしい。

(南区)

→ 意見・質問は持ち帰り、南区議員に伝える。

- 合併時の説明と「ぐるりん号」の回り方が違う。どうなっているのか。(南区)

→ 意見・質問は持ち帰り、南区議員に伝える。

- 古町の活性化について学生の立場から言うと、バスよりも越後線の方が運賃が安い。新潟大学の学生を古町にということになると、若者のバス運賃をもう少し安くすればいいのではないか。(西区)

→ 議会でもバスの運賃が高いという議論がある。高齢者にはシニア半わりとして、税金を投入して運賃を安くしている。これにより、新規の乗客が増えている傾向もあり、結果として新潟交通の経営がよくなり、ひいては乗客全体、特に若者の運賃が安くできる体制になればと考えている。

6. 除雪、消雪パイプについて

- 町内の除雪費が80万円かかった。除雪後の雪捨て場所がなく路肩に寄せて置き、それをダンプが排雪のため往復をしているが、空き地の許可を得て捨てさせたらどうか。町内で空き地に置いたら不動産屋から「それはまずい」と言われ、どかした。土建屋が一生懸命にやっているのは分かる。(江南区)

→ 大変な雪が降り、特に西区は慣れないので除雪対応が遅れた。除雪の発注は各区の建設課が行っている。除雪は排雪も重要である。空き地に捨てる決まり等は難しい。

- 除雪が今年特にひどかった。子どもたちの通学路の除雪がなかなか進まず、危険な状況が長く続いた。金津地域では融雪道路の設置を段階的に計画を立てて進めるべきではないか。(秋葉区)

→ 市としては予算がないので、予算ができ次第積極的に考えるとの姿勢だ。西蒲区でも要望しているが、予算ができ次第前向きに検討するとのことであった。消雪パイプについて実施してもらえるよう働きかけるつもりである。

- 今年の雪がすごかった。越後線の踏切の除雪がされていなくて、乗用車がはまっていた。行政の不作为である。(西区)

- 西蒲区の山場(石瀬)は雪が多い。除雪車の出動が積雪10センチだが、平場で10センチでも同時刻、山手では20センチを超える場合がある。地域に合った対策が必要である。地元の業者はこの地域のことをよく知っているの、そこに頼むことはできないのか。(西蒲区)

→ 除雪において、初動体制の遅れは今回の課題である。幹線以外はできる限り地域の業者にやってもらうようにしたい。オペレーター不足や人の入れ替わりによる問題の改善も急務である。各区の実状に応じた問題を求めて対応の形をつくっていきたい。

- 和納地区の団地の消雪パイプ敷設について要望してきたが未だ実現していない。しかし、近くの団地には消雪パイプが敷設された。不公平ではないか。新潟市の住民としては新潟市内で買い物をしたいと思うが、地域住民の気持ちとしては、冬は消雪パイプのある燕市に買い物に行くようになる。(西蒲区)
→ 確認し、後日連絡した。

7. 道路、鉄道、空港関連について

- 新潟駅の高架駅第一期開業を迎え、駅の様子を見に行っているが、万代口から5番線の電車に乗るまでに階段の段数が多く、高齢者や重い荷物を持った人は大変である。できたばかりですぐ直せとは言えないが、この先第2段階、第3段階では市からも要望してほしい。(北区)
- 新潟空港の新幹線乗り入れは、費用対効果を考えると無駄ではないか。利用者が少ない状態で、費用をかけて新幹線の延長をする理解が得られるのか疑問であり、今後の検討材料としてほしい。(北区)
- 新潟空港の定期航空路の廃止が続いたが、こちらでももう少し頑張ってもらいたい。(北区)
- 秋葉区の菩提寺山は健康増進のため登山者が多く駐車場も広いが、雨が降った後ぐちゃぐちゃになるので、登山道に砂利を敷いてほしい。(江南区)
- JRやバスを利用してもらうために駅に駐車場を整備すべきでは。(江南区)
- 中央環状道路整備は周知が不足していて、費用対効果も分からない。子どもにお金を回すためにも中止すべきでないか。(西区)
→ 必要な事業であり、中止という結論には至っていない。

8. 子育て支援関連について

- 保育料が軽減や無償化された場合、保育園に子どもを預けたい人が増え、待機児童が増えるということも考えられるので、今のうちから対策が必要なのではないか。(東区)
→ 保育料の軽減や無償化がされた場合、今の施設では不足することは事実だと思う。財政状況が限られた予算の中で考えていかなければならないため難しいが、いただいたご意見は議会に持ち帰り、今後の議会での議論に生かしていく。
- 子育て支援を掲げているのに就学援助が切り捨てられるのはいかがなものか。補正予算で戻してほしい。(中央区)
- 大畑少年センターが閉鎖され、放課後児童クラブが仮設のプレハブになる予定だが、今、空き家もあるので空き家を利用するような案はなかったのか。(中央区)
→ いただいた意見を担当課に伝える。
- 就学援助の基準引き下げや安全にと言いながら自転車通学生ヘルメット事業を廃止することは、時代に逆行していないか。頑張ってもらいたい。(江南区)
→ 就学援助の基準引き下げは、委員会でもかなり協議した。新潟市の財政が改善したら柔軟に変えていくこととしたが、厳しい選択であった。自転車通学生ヘルメット購入事業費も減らして申し訳ないと思う。苦勞している家庭が多いので戻してほしいとい

う、意見要望があった。

- 市立幼稚園の廃止計画を聞いているが、幼保小連携をもっと進めるべきではないか。この点についてどういう議論があるのか。(秋葉区)
 - 文教経済常任委員会では、議案で幼稚園の問題が議論された。幼保連携の認定こども園などを進めているが、公立で幼稚園あるいは保育園をやるのは現状の財政下では厳しい。幼保連携について執行部も進めていく旨、答弁があった。委員会で地域に影響がでないよう意見要望し、そのように対応していくとのことだった。
- 児童手当について、夫婦共働きでも足りていない。非正規雇用が増えるなどで可処分所得が減っている。市として、経済的に弱い方、子どもを産みたいけれども産めない方に支援が必要だと考える。少子化対策のためにも、市独自の支援策が必要だ。(西区)
 - 現在の児童手当の額で子どもをもう一人産もうという意識を持つのは難しい。そもそも、少子化対策や子育て支援は首都圏と地方、都市部と農村部などで大きく異なっていて、現在の一律5,000円を全家庭に配ることがそうした課題にフィットするかという疑問である。現在、新潟市として国に要望しているが、児童手当分の財源を自治体に配分して、地域課題に則した使い方をすることでかなりのサービスが提供できるようになるので、まずはそれを要望していきたい。

9. 福祉関連について

- 少子高齢化が進行し、献血をする人が減っているため、献血の推進を議員もリードしてほしい。(北区)
- 高齢者に対するインフルエンザ予防接種の助成を削減することは、健康保険を圧迫するのではないか。(東区)
- 地域包括ケアシステムでかかりつけ医をつくれと言われているが、土日に対応する診療所がないので困る。(中央区)
- 地域包括ケアについて、第2層の日常生活圏域は地域包括支援センターの管轄である中学校区2校区分では広すぎる。結局は自治会ごとの取り組みが中心だ。圏域についてどのように考えているのか。(西区)
 - ご指摘のとおり、日常生活圏域を中学校区2校区分、すなわち地域包括支援センター管轄区域というのは広いと考えており、議会に持ち帰り、発言できる機会に発言していきたい。ただし、現在の考え方は、第2層ですべての助け合いの仕組みを運営するというものではなく、第2層の圏域ごとに、各地にふさわしい助け合いの仕組みづくりについて検討すべきというものであり、その辺りをご理解いただきたい。
- 敬老事業は西蒲区に欠かせない大事な事業である。各区にはその区なりの歴史や特徴があり、中央区に右ならえでは困る。予算の削減にならないように望むが、今後の見通しなどを聞きたい。(西蒲区)
 - よいところはできるだけ残すなど、要望に応えられるように努力する。
- 敬老事業の開始当初はバスタオルが配布されていたが、徐々にサイズが小さくなっており、細やかなことだが段々落胆していく。金額ではなく気持ちの問題もあり考慮してほしい。(西蒲区)
- 75歳以上の高齢者が多い地域では、公共交通がないところもあり買い物に不便が生

- じている。地元ではささえあい運動をしているが、行政のバックアップも必要。(西蒲区)
- 聴覚障がい者の高齢の方でゴミの分別、捨て方が分からず困っている人がいる。(西蒲区)
 - 各区に手話通訳者がいるので、利用してみてはどうか。手話通訳者を活用して情報提供を行っていききたい。
 - 手話について、もう少し地域の皆さんに覚えてもらえるといい。(西蒲区)
 - 新潟市では昨年度から手話言語条例・コミュニケーション条例の制定を目指して活動をしているので、今の意見は大事にして取り組んでいきたい。

10. コミュニティー活動関連について

- コミュニティ協議会で利用する地域活動補助金がいづらいので、柔軟に使えるようにしてほしい。(北区)
- 松浜のござれや花火の予算が100万円カットされた。合併で豊栄や東区と一緒に新潟の名物として目標にやってきたが、育てていく途中で腰を折られるのも困る。(北区)
- 矢代田駅への花いっぱい運動を地元の小中学生などとやってきた。今年度から花のお金が5万円、プランター、土のお金は駄目だとのことでは、コミュニティー中心のまちづくりの動きに逆行している。(秋葉区)

11. 人口減少問題関連について

- 人口減少の問題について、働く場所がなければ人を呼ぶことはできない。大きな工場を誘致するような場所を造るという話も聞いているが、意見を聞きたい。また、働く人が来るのが一番いいが、本市で働く人の親が不便なところで生活している場合、本市に呼び寄せるということで人口を増やすことも可能ではないか。(北区)
 - 企業立地課で新たな工業用地確保するための開発プラン(8地区)が選定され、スピード感を持って進めていく体制をとっており、民間の力を借りて進めていくという方向で進んでいる。
- 平成30年度予算の報告があったが、この中で人口減少対策はどこが所管なのか。どの事業(福祉)なのか。(秋葉区)
 - にいがた未来ビジョンに基づいて全体として取り組んでいる。
- 新聞のうぶ声欄とおくやみ欄から推測すると、新潟県の人口の自然減少は1カ月で1,600人ほどだ。地域では結婚しない人が多く人口減少が進み、消防団の担い手が非常に少ない。人口減少対策について、企業誘致を進めるなど明確な指針がほしい。(秋葉区)
 - 人口減少対策はまだ不十分であり、意見をしっかり受け止めていきたい。
 - 人口減少について、新潟市の平成28年の自然減は2,387人。社会減は320人の減少。
- 人口減少が市の大きな課題になっているが、若い人はこの冬場のことを考えると、ここではやっていけないと思って、町場に行ってしまう。高齢者だけではなく、若者が定着するには生活環境を整えることが重要である。(西蒲区)

12. 合併、区の再編、庁舎再編関連について

- 区が多いのではないかとということで数を減らすような話も聞いているが、どの辺まで進んでいるのか。また、他の政令市と比べると、本市と同じ時期に政令市になった静岡市は3区しかなく、浜松市は7区あるが、本市はどのような考え方で進んでいるのか。(北区)
 - 拠点性の向上に資する観点から、空港や港、新潟駅がある中央区と東区を総合区にした場合の研究を始めている。大阪市や浜松市では研究が始まっているが、浜松市では区を減らした場合に統合するためのイニシャルコストがかかるが、将来的にランニングコストの削減が可能との試算がされている。本市は議論が始まったところで、実際にこの先どういうふうになるのかというところまでは話が進んでいない状況である。
- 市役所本館の1階について、全部塞がれて中に入れなくなり鳥小屋のようで、職員との接点も上手くない。閉ざされた印象を受けるので、改善してはどうか。(北区)
 - 平成29年12月定例会で、市役所本庁の雰囲気が悪いので、もう少し市民に開かれた形にすべきという陳情があり採択し、それを受け、明るい雰囲気にするために、本市の景色やイベントの映像を流す取り組みを進めている。
- 現在の新潟の中心部は駅前、駅南、万代が中心となっているのが現状であり、NEXT 21への中央区役所の移転や大和跡地の再開発は古町の活性化というが、意味があるのか。今からでもやめれば多額の予算を使わなくても済むのではないのか。(東区)
- 財政緊縮で市民全員が不満だと思うが、政令市になったしわ寄せが中央区にきている。固定資産税も中央区から相当納めているが、他のところにまわってしまい割に合わない。今後人口が減ると政令市の基準にも満たなくなるので、政令指定都市をやめて、元の市町村に戻してほしい。(中央区)
 - 地方自治法上合併はできるが、元の市町村に戻す制度はない。

13. その他市政に関連する事項について

- 婚活支援事業について、裏には犯罪行為もあるので内容を精査してほしい。(中央区)
- 市営体育館の利用について、場所取りを早くしてそれから参加者を募り、そこから使用料以上に参加費を徴収している団体があるが営利目的ではないのか。営利目的なら受益者負担で料金を徴収し、市の財政を補填したらどうか。(中央区)
- 市報にいがたが毎週から月2回に変わることで困ることはないか。(中央区)
 - 経費削減効果もあるが、緊急を要する告知も少ないため月2回とし、内容の充実を図ることになった。
- 外国人土地法について、外国人土地購入にかかる新たな法整備を求める意見書を国宛に提出してほしい。外国人籍による新潟市の土地並びに建物売買・賃借及び土地開発行為等の適正化に関する条例を制定してほしい。(中央区)
- 国家戦略特区の件で国会にて新潟市が取り沙汰されているが、何故新潟市の名前が出ているのか。(中央区)
 - 新潟市が最初に獣医学部新設の提案をしたが、その後熟度が低いことにより取り下げた経緯があり、そのため国会で名前が出たのではないのか。

- コミュニティハウスの着服について新聞報道があったが、知っているか。お金を返せばそれでいいのか。(中央区)
- 防災マップについて、水が出た時は高いビルに避難させてもらえるようにすると相当数の人が助かる。一時避難所を知らない人が多く、大多数の人が関心がない。(江南区)
- 亀田公園での犬の散歩は排泄のため、リードを離しマナーが悪く公園を汚す人もいる。他の区ではペットボトルに水を持参してまいている。子どもや区外からも人が訪れる公園なので、病気が出たら誰が責任を取るのか。(江南区)
- 7年位前より学校の先生から駐車料金を取ったらどうかと提案している。払ってもよいと言っている先生もいる。取れる所から取るべきである。(江南区)
- 福祉が切り捨てられている印象を受ける。開港150年は秋葉区にはあまり関係ない。地域に関係のある福祉、農業などにもっと予算を使ってほしい。(秋葉区)
 - 農家支援は、通年でできる園芸など儲かるものについて今年度から進めていくことになっている。稲作からの移行は簡単でないことも理解しており、文教経済常任委員会でも丁寧に進めていくよう要望した。
- 下水道使用料金が政令市で一番高いので安くしてほしい。(西区)
 - 下水道接続率が低い地域がある中で、整備の必要性は高い。そのような中で、安くならないのかというご意見もいただいております、ご意見としてお聞きする。
- 矢代田駅周辺整備事業で地権者が不安を持っている。どのように考えているのか。(西区)
 - 現在、地域の業務代行者が継続に向けて検討している。市としては、平成30年3月31日で行政の役割を終えるが、業務代行が選ばれた後も行政としての支援を継続しており、今後もその必要があると考えている。
- 政策にモノマネのようなものが多い。BRT、12次産業化、文化芸術など、本来的な政策実行を求めたい。(西区)
- 本質的な産学連携をしてほしい。(西区)
- 2月議会で、スケートボードができる施設の創設を求める陳情が継続審査になった理由を聞きたい。(西蒲区)
 - 市内で需要がどのくらいあるのか、調査が必要との意見があった。
- 新潟駅の南口広場でのスケートボードが禁止になった問題で、「駄目だ、駄目だ」だけでなく、子どもたちがスケートボードができる場所が他にあるといいのではないのか。(西蒲区)
 - 専用施設を造ったからといって、若者がその施設を利用するかどうか分からないという意見もある。市民の声や要望がどれほどあるかを見て今後の取り組みを考えていきたい。

14. 議会報告会について

- 議会報告会に出席者が少ないことについてどう受け止めるか。(中央区)
- 北区では議会報告会の参加者が5名だけとのことであった。議員と地域で頑張っている人との目線がずれないように、報告会の内容は陳情でもいいと思う。実情、意見を出すというのでも意味があると思う。地元の議員がいると陳情になると言うが、一体どこで

陳情すればいいのかという疑問もある。(秋葉区)

→ 皆さんからのご意見、ご要望は区ごとに全部まとめて、各部、各区、市長も確認している。議会としてもすべての区の状況を確認している。

- 西区で報告会をやるなら、現在、西区で子どもが犠牲になる痛ましい事件が起きているので、どのように子どもを守っていくかというような、今の問題を議論したらどうか。(西区)
- 議会報告会に学生として勇気を出して出席し、今後も参加したいと思うが、参加者の方に言いたいと思うが、一人の方がずっと話し続けたり、やじを飛ばしたりするようなことは望ましくない。(西区)

15. その他議会関連について

- 現在議会で討議されているのは会派内討議であり、議員間討議がほとんどされていない。会派を離れて議員として議論するため、議会基本条例にある議員間討議を積極的に行ってほしい。(東区)
- 市町村合併に伴い議員数が減り、市民意見を反映しづらくなっている。(中央区)
- 大学は財政が厳しく、新潟市及び新潟市議会との連携に期待する。(西区)
 - 議会では新潟市内及び周辺の大学とのパートナーシップ協定の締結に向けて作業を開始したところである。条例を制定する際のアドバイスや議会報告会を大学で開催させていただくなど、大学への期待は大きい。今後は大学からの要望などもお聞きしながら協定の締結に向けて取り組んでいきたい。